

# 長野県における地域自治組織の現状と課題に関する研究

平成 25 年 8 月 藤井 貴裕

## 要旨

### 目的

「地域自治組織」と呼ばれる地域コミュニティを設置する動きが全国的に広がっており、長野県内では長野市・松本市・飯田市・伊那市において、市町村合併を契機に地域自治組織が設置されている。この4市の地域自治組織を調べ、各市の組織体系や活動状況、現状の課題等を明らかにし、地域自治組織のあり方を考察した。

### 方法

市の担当課を訪れ、各市の地域自治組織の設置経緯・組織体系を調べた。また各市・各地区の地域自治組織の会長・事務局長を対象にアンケート調査を行い、各地区の組織の活動内容・活動状況を調査した。さらに、アンケート結果の因子分析により、各市・各地域の住民の地域自治組織に関する評価を比較した。

### 結論

アンケート調査により、市町村合併で合併した地区と合併以前の旧市の地区との間で、活動内容・活動頻度に大きな差があることがわかった。また因子分析により、地域自治組織の設置の意義や市との関係性に対する評価は、長野市・松本市が飯田市・伊那市に比べ高いこと、合併地域が旧市内地域に比べ高いことがわかった。地域自治組織の解決すべき課題として、組織が地域住民に情報発信し活動への参加を促すこと、地域自治組織と地区の自治会などとの役割分担を明確にすること、組織の活動を支える人材の育成を進めることなどが挙げられる。

将来の地域自治組織のあり方としては、地域包括的な組織として設置すること、一括交付金制度を採用すること、地区の各種団体を統合して役員の負担を軽減することなどが挙げられる。

指導教員 藤居 良夫 准教授